



ご声援ありがとうございました。

先号でお伝えしました“そば部の夏”。皆様のご声援をいただき、全国大会である群馬大会と、同じく全国大会である東京大会をたたかってきました。群馬大会はお伝えしたとおりですが、東京大会（そば打ち甲子園と呼ばれます）は8月27日（土）に東京都千代田区の麺業会館で行われました。本来であれば出場校が一堂に会してそば打ちを行うのですが、今年は5校ずつ、時間をずらして行いました。ここにもコロナウィルスの影響が。

生徒達は今までの成果を出し奮闘しました。団体戦、個人戦ともやれることはやったという表情で大会を終えました。そして、運命の8月31日。群馬大会、東京大会とも同日に結果発表となりました。学校では放課後生徒と職員が固唾をのんで結果を待ちます。くだされた結果は。。

群馬大会・・・団体戦準優勝 個人戦準優勝
東京大会・・・団体戦準優勝（個人戦は開催なし）



団体戦の様子(東京大会)



群馬大会表彰(於 戸隠分校)

という結果でした。今年は惜しくも優勝は逃しましたが、すべての大会において準優勝。特に東京大会は昨年までの最高順位が10位だっただけに、かなりの成績アップになりました。群馬大会で優勝した高校や東京大会で優勝した高校が別の大会では7位や優勝圏外といった大会成績のなか、両大会とも準優勝という成績を残した戸隠分校そば部の実力は全国一といってもよいと思います。

いっぽう、大会結果を見た生徒や職員は嬉しい反面、優勝を目指していただけに悔しさを滲ませましたが、この悔しさは来年に必ず繋がっていきます。

来年度は両大会とも優勝を勝ち取りたいものです。これからもご声援よろしくお願いします。

九頭龍祭、久しぶりに一般公開

9月3日、九頭龍祭が行われました。久しぶりの一般公開ということもあり、例年になく多くの来場者がありました。駐車場も止めるスペースがなくなり、嬉しい悲鳴でした。

当日は学校で制作した生徒の作品や、授業作品、個人の展覧会などもあり、また、分校軽音部の発表、戸隠太鼓の発表、そば部の実演といった催し、学校の授業で育てている農産物の販売など、来場された方は楽しまれている様子でした。

分校の文化祭は3日限り。この一日のために生徒は毎日練習し、案を練り、本番を迎えました。一日だけの公開でしたが、生徒は満足そうな笑顔を浮かべていました。また、一般公開に先立って9月2日には芸術観賞会を行いました。今年は湯澤かよこさん。ご存じの方もいらっしゃると思

裏面あります>

ます。その湯澤さんが来校され、歌とトークを分校の生徒にしていただきました。さすがプロフェッショナル。その声量とお話の内容に予定された時間があっという間に過ぎてしまいました。最後は全校生徒と記念撮影。楽しい芸術観賞会となりました。

同じく9月2日、定時制、通信制の生徒による生活体験発表大会が行われました。学校生活のこと、家庭生活のこと、自分の生き立ち、将来のことなど、7分間という時間の中で主張を展開します。この発表会で学校代表になると次の大会である「北信高等学校定時制通信制と生活体験発表大会」に出場することになります。当日は生徒の緊張した顔そして、それぞれの思いを熱く語っている姿が印象的でした。



第 56 回北信高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会



9月9日の重陽の節句の日、ホクト文化ホールにおいて、「第56回北信高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」が開催されました。コロナ禍のため、一般公開とはなりませんでしたが、関係者約70名で3年ぶりに参集という形での開催となりました。大会は北信地区の定時制、通信制のある高校から代表の生徒が発表をします。各校一人、計7人による発表大会です。各校生徒の話をお聴きしていると心に響くものばかり。聴衆の方も代表生徒の発表に聴き入っていました。本校も九頭龍祭で代表になった生徒が、5番目に登場。自分の思いを訴えていました。この大会で最優秀賞1人優秀賞2人が決まり、県大会に進むこととなりますが、しかし、どの生徒の発表も素晴らしいもの。本来、生徒の発表内容に差をつけるものではありません。それでも順位を決めなければならず、審査員は苦勞したと思います。発表をする生徒の態度や声、落ち着き等で順位を決定していきました。

結果、本校生徒は優秀賞を受賞、見事県大会への進出を決めました。

県大会は10月8日、松本市のMウィングで開催されますが、こちらの大会も関係者のみの開催となっています。

